

〔設問1〕

以下の事例を読んで優先度が高いと考える看護上の問題を1つ挙げ、①看護上の問題とその根拠（看護上の問題を引き起こしている原因、ADL への影響、QOL への影響を含め）、②看護上の問題に対する患者目標、③今回のエピソードではじめてNSAIDs とオピオイド鎮痛薬を使用することについての具体的な看護計画、を解答欄に記述してください。

【事例】近藤礼子さん、60 歳代後半、女性。職業は元保育士。70 歳代前半の夫と2人暮らし。長女（既婚）が自宅から徒歩20分程の場所に住んでいる。

【経過】6年前に左乳癌の診断を受け、左乳房全切除術とセンチネルリンパ節生検が施行された。病理診断は、ER 陽性、PgR 陰性、HER2 陰性、Ki67 高値であった。術後化学療法及びホルモン療法を受け、症状もなく、定期的な診察での経過観察となっていた。数日前から腰部に痛みを感じたため受診し、骨シンチグラフィーにて左右肋骨、胸椎と腰椎に多発骨転移が認められ、入院となった。

入院後は、体動時にNRS 8程度の痛みがあり、NSAIDs とオピオイド鎮痛薬、緩下薬の内服が開始された。近藤さんからは、「起き上がるときや寝返りのときに腰にビリビリと電気が走るような痛みがある」といった体動時の痛みの他、「ベッドで横になっている時にも突然痛む時がある」との訴えも聞かれた。

設問 1 の解答欄

①看護上の問題とその根拠（看護上の問題を引き起こしている原因、ADL への影響、QOL への影響を含め）

②看護上の問題に対する患者目標

③今回のエピソードではじめて NSAIDs とオピオイド鎮痛薬を使用することについての具体的な看護計画

OP(Observation Plan)

TP(Treatment Plan)

EP(Education Plan)

〔設問2〕

がん医療においては、様々な専門性をもつ医療関連職種が連携し合って治療や支援を進めていくチーム医療が重要と考えられています。患者ニーズが多様化するなか、一人ひとりの状況に合わせた医療の実現のためには、今後一層チーム医療の重要性が高まると言えます。そこで、がん患者や家族に関わるチーム医療に関するこれまでの経験をもとに、①病棟看護師の立場から果たすべき役割と課題について述べ、②①のように考える理由をがん医療の現状を含めて説明してください。

解答欄

①病棟看護師の立場から果たすべき役割と課題

②①のように考える理由（がん医療の現状を含め）